

オーストラリア北西部の町ブルームにおける日本人移民と食をめぐる

ディアスポラの経験と場の生成

山内由理子（東京外国語大学）

本発表では、西オーストラリア州北部の町ブルームにおける日本人移民とその非日本人配偶者、そして彼らのミックスであるその子孫の人々の食に関する語りを中心に、日本人をはじめとするアジア人移民や先住民との混淆の歴史を経て形成されてきた「ブルーム」という場とそれに絡みついたアイデンティティの在り方を考察する。

ブルームは 1880 年代から 1960 年代にかけて真珠貝採取業の町として繁栄し、日本人移民も主にその労働力として流入した。今日、彼らの歴史はこの町の「マルチカルチュラル」な歴史の一部として表象され、現在でも彼らのルーツを引く人々が存在する。オーストラリア政府によるアジア人とオーストラリア先住民の接触規制や、第二次世界大戦時の日本人の強制収容とその後の日本への送還、日本人移民の多くが帰国を前提とされた契約労働者であったことなどから、これらブルームの日本人移民の子孫における日本側のルーツとの関わりはイディオシンクラティックであり、日本人の父親がブルームに定住しその親族とのつながりのあるものから、それが数世代前となるもの、日本人であった「父親」や「祖父」について話を聞いたことがあるだけのものまで多様である。また、第一世代移民の大半が男性であったため、彼らのブルームでの配偶者となったのはオーストラリア先住民かそのルーツを引く女性たちであり、そちら側の親族との関わりも日本人移民の子孫の人々のブルーム社会での立ち位置に大きく影響している。このような多様性のためか、これらの日本人移民やその子孫の人々は定期的に会合したり地域的に集住などはしておらず、確固とした「日本人コミュニティ」があるとはいえない状況にある。

しかし、このような中で日本人移民の子孫や彼らの非日本人側一往々にして先住民のルーツを引く一親族は彼らの日本人側のルーツやブルームの日本人移民の歴史、そして日本人移民らとの混淆を経験してきた「ブルーム」への愛着と誇りをしばしば口にする。彼らの語りによく出てくるのが食にまつわる経験であり、殊に第一世代の日本人移民の作る「日本食」の「おいしさ」は様々な状況で語り草となっている。

移民の経験における食の重要さはよく指摘されており、そのエスニック・アイデンティティとの関わりや食の引き起こすノスタルジアの役割などが議論されてきた。アメリカへのベンガル移民の食について研究した Ray (2004) は、移住先におけるディアスポラ・

アイデンティティとノスタルジアをつなぐものとして食を据え、食にまつわる実践を「アメリカ」に「ベンガル」を持ち込み、相容れないはずの空間が同時に並置する「ヘテロトピア」的な『場』の生成 (place-making) 行為と論じた。

ブルームにおいても第一世代の日本人移民が「日本食」を作り消費する、ということは、「異郷」における生存のための実践であると同時に食の「日本」を想起させる力を使った『場』の生成 行為であったと見ることができる。しかし、ブルームにおいて彼らの家庭の大半は、他のエスニックグループ出身者との結びつきによるものであった。そこにおいては、非日本人側の配偶者やその親族も日本人移民の作る「日本食」を食べる経験をする。彼らにとってその「日本食」の「味を知り、好きになる」ということは、日本人移民という移住者を「知る」ということであり、それを通じて彼らのテイストも書き換えられることで彼ら自身にも一種のディアスポラの経験をもたらすものであった。Brah (1996) は移動する人々の経験は移動先にすでに居住する人々にもディアスポラの経験をもたらすとして「ディアスポラ空間」という考えを提唱し、そこにおいては「マジョリティである事」と「マイノリティである事」が同時に書き換えられ再構築されるとしたが、ここに見られるのは、家庭というレベルにおけるその現れである。食事をするという行為は個人的な経験であると共に他者と分け合いうるという二重性を持つ。この二重性により食はディアスポラ空間における移住者と既に移住先にいる人々の双方に起こるプロセスを象徴し想起させる強力なモチーフとなるのであり、日常におけるそのようなプロセスの積み重ねの場として「ブルーム」は経験されてきたのである。

本発表においては日本人移民の第一世代とその非日本人配偶者、そして移民第二世代の人々の語りを中心に、ディアスポラ空間における「ヘテロトピア」的な場としての「ブルーム」の形成、そしてそれに伴う移民側・非移民側双方の「ディアスポラ・アイデンティティ」の在り方を見てゆきたい。

参考文献

- Brah, A. (1996) *Cartographies of Diaspora: Contesting Identities*, New York: Routledge
Ray, K. (2004) *The Migrant's Table: Meals and Memories in Bengali-American Households*, Philadelphia: Temple University Press

キーワード 日本人移民、食、場の生成